

1 産地づくり支援

消費者が求める安全・安心な農産物の生産とマーケットイン産地の育成を基本に、いちご、果樹、花き等の部会活動を通じて、GAP（農業生産工程管理）の取組強化、新品種・新技術の普及支援、技術の高位平準化など生産対策についての活動を行うとともに、次代を担う生産者の育成、活動について支援を行う。

- ① 「いちご王国とちぎステップアップ戦略」の展開といちご王国グランプリの開催
- ② 夏秋いちごの産地育成の推進
- ③ 優良果樹苗木の確保と普及推進
- ④ 需要対応力の高い野菜産地の育成とトマトグランプリの開催
- ⑤ 各種共励会の開催
- ⑥ とちぎの花のPR活動
- ⑦ 全国バラ研究大会栃木大会の開催
- ⑧ 生産者大会等の開催

2 販売戦略等策定支援

消費者から求められる県産農産物“とちぎブランド”の検討や地域の特色ある農産物の育成を図るための統一ロゴマークの普及推進と地域ブランド農産物の認証制度の運用、認証した農産物のブランド化支援、県外へのブランドPRを行う。

また、「とちぎ和牛」の一層のブランド化、消費拡大を図るとともに、商標権の管理及び認定業務を行う。

- ① とちぎブランド向上対策
- ② 地域の農産物ブランド化支援
- ③ 県外へのブランドPR及び販路開拓活動支援
- ④ 「とちぎ和牛」認定及びPRと商標管理
- ⑤ 「なすひかり」普及推進

3 県産農産物に関する情報の受発信

県産農産物のイメージアップ、販路拡大を図るため、米、野菜、果実、畜産物等を総合的にとらえたイベント、消費拡大・宣伝活動を実施するとともに、生産から流通、消費に至るまでの情報を総合的に受発信するため、消費者や実需者、流通関係者及び生産者に対し、協会ホームページや情報誌及び各種メディア等を積極的に活用する。

さらに、県産農産物・食材の利用拡大と消費宣伝を図るため「とちぎの旬彩店」首都圏での「食の応援店」の登録を進める。

- ① とちぎブランド農産物情報発信
- ② 各種イベントでのとちぎブランド農産物のPR
- ③ とちぎフレッシュメイトを活用した県産農産物のイメージアップとブランド化の推進
- ④ 「とちぎの旬彩店」の拡大と首都圏での「食の応援店」の登録推進
- ⑤ 牛乳、乳製品等の普及推進
- ⑥ とちぎ農産物クチコミ隊の運営
- ⑦ 農林水産祭への参加

4 多様な流通への対応

市場流通から契約取引・直売等の増加など多様な流通が進む中、県産農産物の積極的販路拡大を図るため、専任職員の設置により、県産農産物の魅力と生産情報を発信し、新たな流通ニーズに対応する。

また、大口需要者（企業社員食堂等）に対して県産農産物の県内流通・利用拡大によるフードマイレージ削減を図るため、販路を開拓し新たな需要につなげる。

さらに、首都圏におけるイベント等を活用した食の魅力発信による観光への誘客、観光地のホテル・旅館で客への県産農産物使用料理を提供することにより県産農産物の良さ・実力等をPRし、とちぎの食の魅力の浸透と利用の促進を図る。

また、農産物輸出については、重点国・重点品目を中心に農産物フェアの開催、展示商談会への出展など、商業ベースに向けた取組を強化するとともに、商標登録・管理により県育成品種等の保護対策を進める。

- ① 専任職員による県産農産物販路拡大
- ② 海外での販路拡大支援ととちぎブランド農産物の保護対策
- ③ 大口需要者(社食等)への販路拡大
- ④ 身近な“とちぎの食材”の活用推進(展示商談会等)
- ⑤ 食で魅せますウェルカムとちぎの実施(観光地)
- ⑥ とちぎ食の魅力で誘客促進(首都圏等)

5 安全・安心に関する取組支援及び研修機能の充実

消費者に対し、HP等を活用しGAP（農業生産工程管理）や生産履歴記帳、残留農薬検査等についての取組を紹介するとともに農産物品質認証制度等の適正な運用や認証農産物の信頼性の確保、制度のPR等を実施する。

また、多様な会員で構成される当協会の特性を活用し、会員間の相互交流、異業種間交流研修などに努めるとともに、農商工連携事業にも参画する。